

総務経済委員会会議録

招 集 年 月 日	平成28年 6月17日			
招 集 の 場 所	湖西市役所 委員会室			
開閉会日時及び宣告	開 会	午後 1時45分	委員長	加藤 弘己
	閉 会	午後 1時49分	委員長	加藤 弘己
出席並びに欠席議員 出席 6名 欠席 0名 ○ ……………出席を示す ▲ ……………欠席を示す	氏 名	出 欠	氏 名	出 欠
	加藤 弘己	○	馬場 衛	○
	福永 桂子	○	吉田 建二	○
	島田 正次	○	二橋 益良	○
説明のため出席した 者の職・氏名				
職務のため出席した 者の職・氏名	係長	村越 正代	書記	三浦 梨紗
会議に付した事件	別 紙 の と お り			
会議の経過	別 紙 の と お り			

総務経済委員会会議録

平成28年6月17日（金）

湖西市役所 委員会室

湖西市議会

[午後1時45分 開会]

○馬場副委員長 大変お疲れのところ総務経済委員会に御参集いただきまして、ありがとうございます。

それでは、委員長、開会をお願いいたします。

○加藤委員長 皆さん、お疲れ様です。

お疲れのところ申し訳ございませんけど、それでは委員会を開催します。

それでは、所定の定足数に達しておりますので、ただいまから総務経済委員会を開会いたします。

なお、会議録作成のため、マイクを手前に向け、スイッチの入れ忘れのないようお願いいたします。

すでに皆様にお配りしました、自動車関係諸税の見直しについての意見書案につきまして、お配りしてありますので、これにつきましてご意見をいただきたいと思っております。特に変えたところは3番めのところですか、表現をちょっと変えてあります。

よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○加藤委員長 先ほど不採択になったのは当然抜かしてあります。

それでは、配布した意見書案を事務局から朗読をお願いします。

○事務局 それでは朗読させていただきます。

自動車関係諸税の見直しについての意見書。

国は地方創生を重要政策に掲げ、人口減少に歯止めを掛けるべく地方の活性化を図ろうとしています。一方で軽自動車等への税制改正が行われました。公共交通機関が整備された都市部と比較して移動手段を自動車に依存せざるを得ない地方にとって、自動車は生活の足として必需品であり、複数台所有している世帯も多いことから、自動車に関する負担の増加は家計を大きく圧迫しています。加えて、先の税制改正による、平成27年度の自動車販売台数減少への影響は否めない状況です。地方には自動車関連工場が多く立地しており経済や雇用を支える屋台骨となっています。今後も自動車に関する諸税についても改正が予定されており、その影響は測り知れません。自動車産業の衰退は地方からさらに人口の流出が懸念されます。

よって、国においては、自動車関係諸税の見直しについて、下記事項を講ずるよう強く要望します。

記。

1 車体課税及び、燃料課税の「当分の間として措置される税率」廃止を検討すること。

2 複雑な燃料課税を簡素化すること。

3 自動車のグリーン化特例について、排ガス測定をきめ細やかに行うなど環境へ配慮した制度をあわせて整えた上で、経年車への重課は再度検討し過大な負担とならないよう配慮すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、国土交通大臣宛。

静岡県湖西市議会。

以上です。

○加藤委員長 ありがとうございます。

それでは皆様にお諮りいたします。

意見書につきましては、事務局が読み上げたとおりとし、当総務経済委員会から「自動車関係諸税の見直しについての意見書」を本会議に上程することに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○加藤委員長 それではそのようにさせていただきます。よろしく申し上げます。

以上で、総務経済委員会を開会いたします。

お疲れさまでした。

[午後 1 時49分 閉会]

湖西市議会委員会条例第28条第1項の規定により署名する。

委員長 加藤 弘己